

1 自己評価及び外部評価結果(1ユニット)

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2192600068		
法人名	株式会社 さくらケアサービス		
事業所名	あいりレー池田		
所在地	岐阜県揖斐郡池田町藤代689-1		
自己評価作成日	平成22年3月22日	評価結果市町村受理日	平成22年5月27日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	別添の基本情報をご覧ください。
----------	-----------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 旅人となつた会
所在地	岐阜県大垣市伝馬町110番地
訪問調査日	平成22年4月13日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

一人ひとりを「自分の家族であればこうしたい」を大切に、緑ある自然の中でゆったりと安心して生活できるように支援しています。地元ボランティアの方の協力や施設内、外の行事を特に充実させ、楽しみのある日々を過ごして頂けるように試行錯誤しながら職員と御本人様が共に考え、生活していく場が「あいりレー」のグループホームです。生涯において一番大切な時間を共に過ごせる事に喜びを感じながら職員一同暖かい気持ちで日々の生活のお手伝いをさせて頂いております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

理念を職員が共有しており、『自分だったら自分の親ならどうしてほしいか』の思いで、日々のケアに生かしている。開設して1年がすぎた新しい事業所だが、積極的に地域に働きかけをして、今では近隣から野菜の差し入れがあったり、地域ボランティアの訪問により季節の壁飾りや置物など、生活空間作りに協力を得られている。職員から利用者全体に目が届き見守りが自然と出来るよう、キッチン・食堂・風呂・トイレの位置に工夫がしてある。職員は、食事の時利用者と一緒にテーブルを囲み、外食やドライブ、温泉、新婚旅行に行った所等、利用者の思い出やいろいろな話題に花を咲かせながら、楽しくいきいきとした雰囲気作りをしている。

サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目		取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価票

〔セル内の改行は、(Alt+)- + (Enter+)-です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	一人一人を『自分の家族であればこうした』を大切に、利用者の家族と同じような介護を提供できるよう意識しながら取り組んでいる。	管理者、職員共に『自分の家族であったなら…』の理念を共有しケアに反映している。開設2年目に入り更に地域に密着し、住み慣れた地域で生活していけるように支援している。	
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地元ボランティアの方に毎月の行事として参加して頂き、地元の方との交流を図っている。	地域の音楽療法士のボランティア訪問、野菜の差し入れ、祭礼時の御神酒のお供え、運動会への見学等、近所付き合いを大切にしている。職員は、地元の人を採用し、地域とのつながりを多くもつ工夫をしている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地元ボランティアの方に毎月の行事として参加して頂き、地元の方との交流を図っている。		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	月間あいりレーだよりでの毎月の行事予定を報告。サービス内容については、意見をいただき話し合いを通じて反映できるよう取り組んでいます。	運営推進会議は年に2回程度であり、行事の予定やサービス内容、事業所について意見を交換している。しかし、参加者が事業所側に偏っている。	運営推進会議への参加は、市町村担当者、地域包括支援センター、地域住民へも働きかけ、いろいろな意見を多く取り入れられるように、更なる充実を期待する。
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	不明な点があればその都度、町や県や広域連合に相談している。月に1～2回程、市町村担当者に現状を報告し、情報交換をしている。	管理者は毎月ホーム便りを持って出向き、担当者に現状の報告をしている。予防接種の支援内容や、スプリンクラー設置についての話し合い等、常に市町村と連携を取りあっている。	
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の施錠はしていない。他の部分も特別な施錠はしておらず外に出入りは自由に行えるようにしている。また、身体拘束マニュアルを作成しカンファレンスなどで、職員への研修を行っている。	拘束をしないケアについて会議で話し合い、玄関は夜間以外は開放している。ベッドからの転落の心配等はベッドを低くする事や、低床のベッドから落ちて痛くないよう、床にマットを敷く等工夫をしている。家族とも拘束についても話し合いをしている。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止マニュアルを作成しカンファレンスなどで、職員への研修を行っている。		

グループホーム あいりレー池田

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修等に参加し内容は把握しているが、現在権利擁護を必要としている御利用者様がいないため、活用には至っていない。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約締結時には、御家族や御本人様とサービス内容や料金、解約方法等十分な説明を行い理解納得の上、署名捺印を頂いている。解約時には必要に応じて面談を行う。		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	施設内に御意見箱等を設け、家族の意見を頂き反映できるように配慮している。	家族へホーム便りを郵送している。その都度、利用者一人ひとりの様子を、手書きで報告している。又、家族の面会も多く、その度に声かけをし、話し易い雰囲気づくりに心がけて意見を聞き、運営に反映させている。	
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的に個々に面談やカンファレンス、職員会議を行い勤務状況・意見・改善点等を聞く機会を設けている。	運営、ケア、研修に関する職員の意見を聞く為、個別面接表を作り、定期的に職員と話し合っている。勤務状態についての希望や、行事内容などの意見を取り入れ、全国名産物巡り等を企画し利用者に喜ばれている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	処遇改善交付金の活用も踏まえ、実績や勤務状況により給与水準も再検討し、各自が意欲的に働けるように努めている。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	各研修へ参加し、介護の場で研修内容等必要な所は発表を行い現場へ反映させている。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他の施設を訪問したりし、施設内での工夫を話し合う場を設けている。各研修への参加により他との交流を深めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	御家族や利用者様から事前に聞き取り調査を行い出来る限り安心して生活して頂けるように配慮している。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御家族や利用者様から事前に聞き取り調査を行い出来る限り安心して生活して頂けるように配慮している。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を通じて「今」どのサービスが必要なのか、グループホーム以外の福祉サービスも考慮して対応している。		
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	介護の基本姿勢として接しています。		
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御本人様と御家族の意見を共に聞き、必要に応じて助言しています。		
20	(8)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	出来る限り継続できるよう、電話、手紙、来訪、家族相談等に対応している。(なじみの美容室の利用や、なじみの友達の来訪等)	仲良しの友達の訪問時にお茶を勧め、再訪しやすい雰囲気づくりに心がけている。訪問理美容もあるが、馴染みの美容院でパーマをかけたい希望の利用者があり、馴染みの関係が途切れないように支援している。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	御利用者様主体のレク(書道クラブ、カラオケクラブ、手芸クラブ、ボランティアの活用)を取り入れ、御利用者様同士の交流も図っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じ、電話、訪問をする。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人一人の状況を把握し、状況に応じて対応、検討している。毎回緊急を要する事は朝礼、申し送り、引継ぎ等で話し合い、素早い対応を心掛けている。	夜勤の1対1になれる時間や、居室でゆっくりと話し合える環境をつくり、希望を聞いている。又、困難な場合には、その人に応じたのコミュニケーション方法(筆談等)を考えて、思いを聞く努力をしている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ソーシャルワーカーや担当ケアマネ、サービス担当者から情報収集し、御本人様、御家族様と面談をし、入所迄の経過を把握している。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人の状況を把握し、状況に応じて対応、検討している。毎回、緊急を要する事は朝礼、申し送り、引継ぎ等で話し合い、素早い対応を心掛けている。		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	作成時、職員、御家族様、御本人様から意見を聞き、「今、何が出来るのか」は何かを考え、安心して生活して頂けるような介護計画を作成している。	本人・家族・職員の意見を聞き計画を作っている。変化があった場合は、その都度見直しをしている6ヶ月毎に評価を行い、職員等から意見を取り入れ(リハビリ体操出席カードにより閉じこもりを減らす等)作成している。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録簿に記入し、皆で共有している。日常生活の中で介護計画に反映していける部分は見直しを行っている。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	散歩や外出等利用者の要望も取り入れ各月の行事を決定している。		

グループホーム あいりレー池田

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地元のボランティアの協力による行事を企画、手芸クラブや書道クラブなども設立し、日常生活に楽しみを持てるよう支援している。		
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	御家族様や御本人様の意思を尊重し、主治医は限定しておらず、各自のかかりつけ医、御家族様、事務所と連帯を持ちながら支援している。	各自のかかりつけ医への受診支援をしている。受診時は、日々の必要な情報や気付きのメモを家族に渡して、かかりつけ医との連携をとっている。又、定期的な歯科の往診もある。	
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日常介護の中で看護師として医療面で気づいた事は管理者や主治医に相談し、主治医の指示を仰いでいる。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には病院側に施設での健康状態などの情報提供をスムーズに行う。また、入院後は状態を把握するために定期的に訪問し、退院迄の状態を把握していく。		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取りケアのマニュアルを作成しているが、現在、看取りケアは行っていない。	入居時に、事業所としてどこまでできるかを説明し、方針を共有している。家族や利用者の要望の変化に応じ、利用者にとって良い方法を、常に家族や関係者と話し合い、連携を密にして支援をしている。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応マニュアルを作成。救急救命の講座も各職員が受講して行く予定。		
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防訓練を実施し、避難経路、避難場所を確認している。また地元消防署に対し、当施設の把握を呼びかけている。	消防署の協力を得て避難訓練をしているが夜間の訓練や地域との協力体制づくり迄には、至っていない。今後、市町村からの協力と助成金で、スプリンクラーの取り付けの計画をしている。	職員一人になった夜間の訓練を是非行い、災害非常時の地域連携や協力体制の築きを期待する。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシー保護マニュアルを作成、言葉掛け等会議で再確認を行っている。	ミーティング時に言葉掛けについて再確認し合っている。人生の先輩として敬う気持ちを大切に、一人ひとりの人格を尊重しつつ、言葉掛けには特に配慮して接するようにしている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	御利用者様の能力にあわせ、いくつかの選択肢を設けたりし、自己決定が行えるよう支援している。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の生活パターンは決まっているが、1人1人が自由に生活できるように柔軟に対応している。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問美容サービスや馴染みの美容室へ行くように配慮している。		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	日常の食事の用意、片付けは御利用者様と共に出来ることを行っている。外食会、出前の日等を設け、味覚、視覚、聴覚と雰囲気を楽しめる食事の提供に努めている。15時のおやつは毎回手作りのものを提供に努めている。	一人ひとりのランチマットや利用者手作りの箸置きをおいている。外食日、出前日、全国の郷土料理を取り寄せる等、食事を楽しむ工夫をしている。又、利用者の力に応じて後片付けや茶碗拭き等、一緒に行っている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事は1日のカロリー計算がされており、毎回食事、水分共に摂取量を記録し変化に気をつけ対応している。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアの実施、歯科医師による訪問診療も取り入れ、必要希望者に口腔指導を提供している。		

グループホーム あいりレー池田

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個別記録へ排泄の時間帯を記録し、声掛けやオムツの方に対しても排泄への声掛けを心掛け自立支援に努めている。	同性介助に心掛け羞恥心への配慮をしている。夜勤などで対応できない時は、家族と相談している。排泄の方法が判らない男性利用者には、同性職員と一緒にいき、トイレでの排泄が出来るように支援をしている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	午前、午後になりハピリ体操の時間を設け、体を動かすように心掛けている。その後にお茶飲みの時間を設け水分摂取に心掛けている。毎朝の牛乳の摂取や乳製品の摂取、適度な運動にも心掛けている。		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴時、声掛けをして午前、午後入浴の希望があればその都度対応している。	2ヶ所の風呂は大きさが違い、利用者の希望に応じて入浴している。入浴拒否があった場合は、声掛けのタイミングを変える等の工夫をしている。又、簡易リフトも設置し、利用者の体調に合わせてるようにしている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の主な日課は決まっているが、その日の体調に合わせて、声掛けを行っている。夜間帯も定期的に巡回し安心して眠れるように支援。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個別ファイルに服用中の処方箋をファイルし、必要な時に職員が閲覧出来るようにしている。変化や異変があれば看護師に連絡。必要な時に日誌に記録している。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	様々なレクを取り入れて各自の得意な分野を探しながら支援を行っている。嗜好調査も行い御本人様の希望に応えられるよう考慮している。日中の役割を各自可能な限り持って生活している。		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	現在、新型インフルエンザの流行に伴い外出は控えているが、食料の買出しに毎週職員と一緒に各希望者が出かけている。日中の散歩も希望に応じて対応している。	見晴らしの良い広い庭があり、いつでも外気浴ができる。又、職員と買い物やドライブ、温泉の足湯を楽しみに出かけている。ホーム内の野菜畑の草取り収穫等も利用者と一緒にいき、今までの生活の延長を続けられるように支援している。	

グループホーム あいりレー池田

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的には、各自でお金は所持しておらず外出時等に御家族よりお預かりしているお金をお渡ししてレジでの清算等の自立支援に努めている。		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	御本人様の希望に応じて対応している。		
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎日居室や共用部分の清掃をし、清潔を保っている。食堂やホールには季節の花を取り入れたり、また施設周りの花壇や菜園を設け季節を感じられるように工夫している。	玄関ホールや廊下にさりげなく椅子が置いてあり、利用者が好きな場所に腰掛けて外を眺めたり、話を楽しんでいる。居間から見える庭に洗濯物が干してあり、生活感が溢れている。本棚には昭和時代のなつかしい本が置いてあり、回想に浸れるようになっている。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂にソファを設けゆったりと過ごせる様にしている。廊下部分にもソファを置き景色を眺めながら独りの時間も過ごせるように工夫している。		
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使い慣れたものを持ち込んで頂けるように入所時に御家族様へ声掛けしている。配置については御家族と御利用者様と相談して決定している。	居室は日当たりが良く明るい。室内には、たんすや机、いす等使い慣れた家具が持ち込まれている。仏壇や、自分で作った思い出の電気スタンドや、調度品でしつらえ、自宅と感ずるような工夫がしてある。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設は全てバリアフリーに設計、平屋建ての為、各職員も各棟の御利用者様の状態を毎日把握出来る。廊下、トイレに手摺を設け安全に移動でき、施設内での散歩など安全に行えるよう工夫している。		

1 自己評価及び外部評価結果(2ユニット)

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2192600068		
法人名	株式会社 さくらケアサービス		
事業所名	あいりレー池田		
所在地	岐阜県揖斐郡池田町藤代689-1		
自己評価作成日	平成22年3月22日	評価結果市町村受理日	平成22年5月27日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	
所在地	
訪問調査日	

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

一人ひとりを「自分の家族であればこうしたい」を大切に、緑ある自然の中でゆったりと安心して生活できるように支援しています。地元ボランティアの方の協力や施設内、外の行事を特に充実させ、楽しみのある日々を過ごして頂けるように試行錯誤しながら職員と御本人様が共に考え、生活していく場が「あいりレー」のグループホームです。生涯において一番大切な時間を共に過ごせる事に喜びを感じながら職員一同暖かい気持ちで日々の生活のお手伝いをさせて頂いております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目		取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価票

[セル内の改行は、(Alt+)- + (Enter+)-です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	一人一人を『自分の家族であればこうしたい』を大切に、利用者の家族と同じような介護を提供できるよう意識しながら取り組んでいる。		
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地元ボランティアの方に毎月の行事として参加して頂き、地元の方との交流を図っている。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地元ボランティアの方に毎月の行事として参加して頂き、地元の方との交流を図っている。		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	月間あいりレーだよりでの毎月の行事予定を報告。サービス内容については、意見をいただき話し合いを通じて反映できるよう取り組んでいます。		
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	不明な点があればその都度、町や県や広域連合に相談している。月に1～2回程、市町村担当者に現状を報告し、情報交換をしている。		
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の施錠はしていない。他の部分も特別な施錠はしておらず外に出入りは自由に行えるようにしている。また、身体拘束マニュアルを作成しカンファレンスなどで、職員への研修を行っている。		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止マニュアルを作成しカンファレンスなどで、職員への研修を行っている。		

グループホーム あいりレー池田

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修等に参加し内容は把握しているが、現在権利擁護を必要としている御利用者様がないため、活用には至っていない。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約締結時には、御家族や御本人様とサービス内容や料金、解約方法等十分な説明を行い理解納得の上、署名捺印を頂いている。解約時には必要に応じて面談を行う。		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	施設内に御意見箱等を設け、家族の意見を頂き反映できるように配慮している。		
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的に個々に面談やカンファレンス、職員会議を行い勤務状況・意見・改善点等を聞く機会を設けている。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	処遇改善交付金の活用も踏まえ、実績や勤務状況により給与水準も再検討し、各自が意欲的に働けるように努めている。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	各研修へ参加し、介護の場で研修内容等必要な所は発表を行い現場へ反映させている。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他の施設を訪問したりし、施設内での工夫を話し合う場を設けている。各研修への参加により他との交流を深めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	御家族や利用者様から事前に聞き取り調査を行い出来る限り安心して生活して頂けるように配慮している。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御家族や利用者様から事前に聞き取り調査を行い出来る限り安心して生活して頂けるように配慮している。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を通じて「今」どのサービスが必要なのか、グループホーム以外の福祉サービスも考慮して対応している。		
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	介護の基本姿勢として接しています。		
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御本人様と御家族の意見を共に聞き、必要に応じて助言しています。		
20	(8)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	出来る限り継続できるよう、電話、手紙、来訪、家族相談等で対応している。(なじみの美容室の利用や、なじみの友達の来訪等)		
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	御利用者様主体のレク(書道クラブ、カラオケクラブ、手芸クラブ、ボランティアの活用)を取り入れ、御利用者様同士の交流も図っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じ、電話、訪問をする。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人一人の状況を把握し、状況に応じて対応、検討している。毎回緊急を要する事は朝礼、申し送り、引継ぎ等で話し合い、素早い対応を心掛けている。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ソーシャルワーカーや担当ケアマネ、サービス担当者から情報収集し、御本人様、御家族様と面談をし、入所迄の経過を把握している。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人の状況を把握し、状況に応じて対応、検討している。毎回、緊急を要する事は朝礼、申し送り、引継ぎ等で話し合い、素早い対応を心掛けている。		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	作成時、職員、御家族様、御本人様から意見を聞き、「今、何が出来るのか」は何かを考え、安心して生活して頂けるような介護計画を作成している。		
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録簿に記入し、皆で共有している。日常生活の中で介護計画に反映していける部分は見直しを行っている。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	散歩や外出等利用者の要望も取り入れ各月の行事を決定している。		

グループホーム あいりレー池田

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地元のボランティアの協力による行事を企画、手芸クラブや書道クラブなども設立し、日常生活に楽しみを持てるよう支援している。		
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	御家族様や御本人様の意思を尊重し、主治医は限定しておらず、各自のかかりつけ医、御家族様、事務所と連帯を持ちながら支援している。		
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日常介護の中で看護師として医療面で気づいた事は管理者や主治医に相談し、主治医の指示を仰いでいる。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には病院側に施設での健康状態などの情報提供をスムーズに行う。また、入院後は状態を把握するために定期的に訪問し、退院迄の状態を把握していく。		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取りケアのマニュアルを作成しているが、現在、看取りケアは行っていない。		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応マニュアルを作成。救急救命の講座も各職員が受講して行く予定。		
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防訓練を実施し、避難経路、避難場所を確認している。また地元消防署に対し、当施設の把握を呼びかけている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシー保護マニュアルを作成、言葉掛け等会議で再確認を行っている。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	御利用者様の能力にあわせ、いくつかの選択肢を設けたりし、自己決定が行えるよう支援している。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の生活パターンは決まっているが、1人1人が自由に生活できるように柔軟に対応している。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問美容サービスや馴染みの美容室へ行くように配慮している。		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	日常の食事の用意、片付けは御利用者様と共に出来ることを行っている。外食会、出前の日等を設け、味覚、視覚、聴覚と雰囲気を楽しめる食事の提供に努めている。15時のおやつは毎回手作りのものを提供に努めている。		
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事は1日のカロリー計算がされており、毎回食事、水分共に摂取量を記録し変化に気をつけ対応している。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアの実施、歯科医師による訪問診療も取り入れ、必要希望者に口腔指導を提供している。		

グループホーム あいりレー池田

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個別記録へ排泄の時間帯を記録し、声掛けやオムツの方に対しても排泄への声掛けを心掛け自立支援に努めている。		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	午前、午後によりハビリ体操の時間を設け、体を動かすように心掛けている。その後にお茶飲みの時間を設け水分摂取に心掛けている。毎朝の牛乳の摂取や乳製品の摂取、適度な運動にも心掛けている。		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴時、声掛けをして午前、午後の入浴の希望があればその都度対応している。		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の主な日課は決まっているが、その日の体調に合わせ、声掛けを行っている。夜間帯も定期的に巡回し安心して眠れるように支援。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個別ファイルに服用中の処方箋をファイルし、必要な時に職員が閲覧出来るようにしている。変化や異変があれば看護師に連絡。必要な時に日誌に記録している。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	様々なレクを取り入れて各自の得意な分野を探しながら支援を行っている。嗜好調査も行い御本人様の希望に応えられるよう考慮している。日中の役割を各自可能な限り持って生活している。		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	現在、新型インフルエンザの流行に伴い外出は控えているが、食料の買出しに毎週職員と一緒に各希望者が出かけている。日中の散歩も希望に応じて対応している。		

グループホーム あいりレー池田

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的には、各自でお金は所持しておらず外出時等に御家族よりお預かりしているお金をお渡ししてレジでの清算等の自立支援に努めている。		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	御本人様の希望に応じて対応している。		
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎日居室や共用部分の清掃をし、清潔を保っている。食堂やホールには季節の花を取り入れたり、また施設周りの花壇や菜園を設け季節を感じられるように工夫している。		
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂にソファを設けゆったりと過ごせる様にしている。廊下部分にもソファを置き景色を眺めながら独りの時間も過ごせるように工夫している。		
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使い慣れたものを持ち込んで頂けるように入所時に御家族様へ声掛けしている。配置については御家族と御利用者様と相談して決定している。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設は全てバリアフリーに設計、平屋建ての為、各職員も各棟の御利用者様の状態を毎日把握出来る。廊下、トイレに手摺を設け安全に移動でき、施設内での散歩など安全に行えるよう工夫している。		